

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、脳神経・脳卒中科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者様の日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

脳梗塞に対するプラスグレル承認後の頸動脈ステント留置術のCASPER使用例における周術期抗血小板療法の変化についての観察研究

●研究の目的

頸動脈ステント留置術で特定のステントを使用した方を対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより、より良い治療法を確立することを目的としています。

●実施施設・実施医師

京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山田 丈弘	(責任研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	今井 啓輔	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	沼 宗一郎	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	長 正訓	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	加藤 拓真	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	田中 義大	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	大林 宏旗	(分担研究医師)

●対象となる患者様

2020年9月から2024年8月までの間、当院で頸動脈ステント留置術をおこない、CASPERステントを使用した方。

●研究期間：当院の研究倫理審査委員会承認日から 2025年12月31日

●使用させていただく診療データ

- ・年齢、性別、既往歴、内服している抗血小板薬
- ・治療（薬物、手術など）の内容
- ・臨床検査値、CT等の画像所見
- ・治療経過など

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データから、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。また、患者さんが研究への参加を拒否した場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

●問い合わせ先（情報管理責任者）

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

電話 075-561-1121（代表） Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 山田丈弘 (takehiro-yamada@kyoto1.jrc.or.jp)